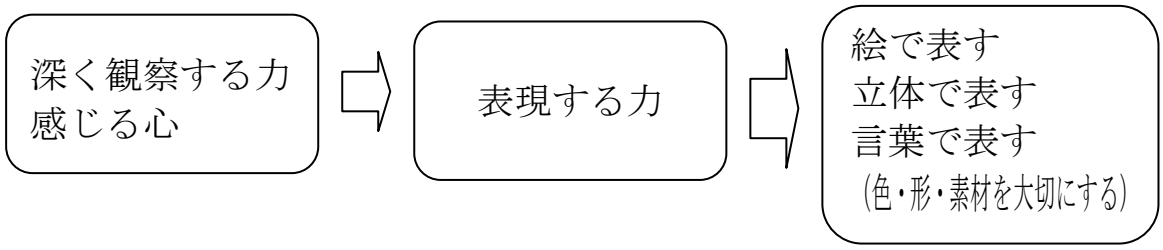
第 2学年　　美術科

教科のねらい

① 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。

② 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。

③ 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。



☆学習を進めるに当たって

使用教材	美術 2･3 上　学びの深まり（日本文教出版） 美術資料集	持ち物	教科書 美術資料集 その他単元で必要な物
学習の進め方	○きれいな作品を仕上げることだけが目的ではありません。「こんな風に描いてみたい、こんな風に作ってみたい」という気持ちを大切にして、どんどん発想の輪を広げていこう。 ○発想や作品づくりに行き詰まったときは、参考作品や仲間の作品をヒントにいろんな方法を考え乗り越えていこうとすることを大切にしよう。 ○自分の思いや発想が思い通りの作品になったときの喜びや達成感を大切にしよう。		
学習上の注意等	○先生の話はしっかり聞き、今日の授業で何をするのか理解する。 ○アイデアスケッチなどは作品づくりの大切な資料です。なくさず提出しよう ○計画的に作品づくりを進め、提出期限を守ろう。		

☆学習内容および評価について

学習計画			
学期	月	単元計画	試験
1	4	球体の鉛筆デッサン（絵画）	
	5	西洋・日本の絵画（鑑賞） 「篆刻」（工芸・彫刻）	期末
	6	西洋・日本の絵画（鑑賞） 筆記・実技テスト（期末テスト）	
	7	「篆刻」（工芸・彫刻）	
2	9	透視図法の基礎（絵画）	
	10	「篆刻」を文化祭へ出品	
	11	西洋・日本の絵画（鑑賞） 筆記・実技テスト（期末テスト）	期末
	12	「点描」（絵画）	
3	1	「点描」（絵画）	
	2	西洋・日本の絵画（鑑賞） 筆記･実技テスト(学年末テスト)	学年末
	3	「点描」（絵画）	

評価にあたって		
評価観点		評価の場面・方法
関心・意欲・態度	・自分らしい見方、考え方で美しさを感じ取り、表現しようとしているか。 ・意欲的・主体的に制作･鑑賞の活動に取り組めているか。	・制作活動の観察 ・作品に込めた思い ・作品提出
発想や構想の能力	・感性を働かせ、美しさを感じ取りながら自分らしい発想や構成について創意工夫ができているか。	・作品評価 ・アイデアスケッチ ・テスト
創造的な技能	・自分のイメージを大切にしながら、見方や表し方、思いなどが総合的に発揮されているか。	・作品評価 ・テスト
鑑賞の能力	・美術作品や文化遺産、仲間の作品について理解し、そのよさや美しさ、面白さを味わっているか。	・感想、レポート ・意見発表